

原因は、炭坑の閉山や国鉄の合理化などで、働く場所が少なくなってしまうことと、医療、教育、生活において、便利な都市へ転出する人が増えたことです。ただ、白田さんのクラスメートが減るのは、転勤を伴う事務所が今の幌延町に多いことも原因ではないかと思えます。

日本全体が人口減少になっている中で、幌延町の人口を増やすことは難しいことですが、少しでも人口を維持できるようなまちづくり、酪農や商工業の支援をしていきたいと思えます。



橋本 翔太 君

質問要旨

幌延町の秘境駅対策について、最近では、昔からあった駅がJR北海道の経営問題で廃駅となっています。

幌延町には秘境駅があります。これらの駅を維持するための町



の対策を考えていますか。

答弁要旨

橋本君が指摘する

とおり、幌延町にある7つの駅、特に利用の少ない駅については、廃駅になってしまう可能性が高くなっています。ただ、どんなに利用する人が少なくても、車などの移動手段を持たない人にとって、鉄道は貴重な移動手段です。

最近では、山里離れた場所に存在する駅、「秘境駅」が観光ブームになっていきます。町では、この秘境駅をひとつの観光資源ととらえて、イベントなどを実施することにより、駅の存続させよう取り組んでいます。



村上 瞬之介 君

質問要旨

深地層の研究が終わったなら、地下の研究施設はどうするのですか。

たくさんお金が入ってきていますが、終了したときに困ることはありませんか。

答弁要旨

深地層研究については、研究を始めるにあたって、現在の日本原子力研究開発機構、そして北海道、幌延町の三者で協定を結んでいます。その中に

「深地層研究終了後は、地上施設を閉鎖し、地下施設を埋め戻すものとする。」と定めていますので、研究が終わった際には、埋め戻すことになっています。

国から「電源立地地域対策交付金」が毎年約1億6千3百万円、町に交付されています。

平成31年度末までに研究終了までの工程やその後の埋戻しについて決定することになってい



門田 翔真 君

質問要旨

東町の道路では、

へこんでいる場所があり、水が溜まってしまい、車がゆっくり通っても、水しぶきがかかってしまうことがあります。排水溝などがあれば歩行者も、より安心して歩くことができると思います。

答弁要旨

東町の道路は「町道幌延北進線」のことだと思

います。現在、凸凹や舗装の窪みなどが発生している状況で、排水施設も古く歩道幅が狭く、車や歩行者が不便を感じていると思っています。

平成31年以降に道路改良工事を計画しています。工事が始まるまでの間は、部分補修で対応していきます。

ます。